

【1】 次代を担う子どもの健やかな成長のために

- 1 学校教育を支援します！・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P25
- 2 特別教室にもエアコンを設置・・・・・・・・・・・・・・・・ P26
- 3 子育ての強い味方です！・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P27
- 4 夏休みを楽しく、安全に！・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P28

【2】 誰もが安心して暮らせる社会のために

- 5 熱中症指標計を配布します！・・・・・・・・・・・・・・・・ P29
- 6 都有地活用！区内初の民設福祉園を整備・・・・・・・・ P30
- 7 生活が困窮し、立ちすくむ人々のために・・・・・・・・ P31
- 8 自宅で安心して自分らしい生活を続けるために・・・・・ P32

【3】 にぎわいとやすらぎのあるまちを創るために

- 9 地域を守るのは君だ！防災学習センター開設・・・・・・・・ P33
- 10 豪イプスウィッチ市との友好交流 20年・・・・・・・・ P34
- 11 よろず企業相談うけたまわります・・・・・・・・・・ P35
- 12 区内4幹線道路を走破しよう！・・・・・・・・・・・・・ P36
- 13 豊かなみどりの中でスポーツや文化芸術を・・・・・・・・ P37
- 14 美術の森緑地にアートを・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P38

【4】 環境と共生する快適なまちの形成のために

- 15 わんぱくでいいじゃないか！！・・・・・・・・・・・・・ P39
- 16 ごみをため込んでしまった高齢者宅等を支援・・・・・・・・ P40
- 17 年間利用100万人を目指して・・・・・・・・・・・・・・・・ P41
- 18 通勤・通学から買い物利用まで・・・・・・・・・・・・・ P42
- 19 自転車シミュレーターで交通ルールを学ぼう！・・・・・・ P43
- 20 見えない地下の安全も忘れない！・・・・・・・・・・・・・ P44

【5】 未来を拓く区政経営を進めるために

- 21 練馬への好感度、さらにアップします！・・・・・・・・ P45

【 1 】	<h2 style="margin: 0;">学校教育を支援します！</h2> <p style="margin: 0;">～ 未来を担う子どもたちのために、学校教育支援センターを開設～</p>	
特色	<p>学校教育の充実を図るための教育研究、研修の拠点。 新たにスクールソーシャルワーカーを配置し、支援の必要な子どもや保護者等へ児童相談所等の関係機関と連携を図りながら円滑な支援を行う。 ネリマフレンド事業を拡充し、家庭訪問や登校の付添いなどにより、自宅に閉じこもりがちな子どもたちに登校を促す支援を行う。</p>	
予算額	347,771千円	新規



学校教育支援センター外観



教員研修の様子

事業目的	<p>総合教育センターを発展的に改組し、学校教育支援センターを開設する。 新たに整備する研修室での教職員の教育研究・研修の拠点となること。 子どもや保護者が抱える悩みを相談する教育相談室の面談室の増設など、施設の拡充に伴う教育相談事業の体制を充実させるとともに、光が丘分室、練馬分室、関分室を統括する教育相談事業の拠点となること。 子どもの年齢や状況に応じた必要な情報を掲載したリーフレット『健やかに育てる』を発行するなど、情報発信の拠点となること。</p>
事業概要	<p>所在地 練馬区光が丘6丁目4番1号（光が丘第二小学校跡施設） 敷地面積 12,001 m² 床面積 4,375 m²（共有部分を含む。） 本館 鉄筋コンクリート造 地上4階建（1～3階部分） 体育館 鉄骨造 地上2階建 上記の事業目的の他、理科室の活用や大学等との連携を進め、科学教室事業への参加機会を拡充する。 体育館や運動場等の施設を活かし、適応指導教室事業を充実させる。 施設を有効利用するため、研修室、調理室、体育館および運動場の貸し出しを行う。</p>
スケジュール	<p>平成26年2月 貸出施設の予約開始 4月 学校教育支援センターの開設</p>
問合せ	<p>総合教育センター ☎ 3904-4881</p>

【 2 】	<h2 style="margin: 0;">特別教室にもエアコンを設置</h2> <h3 style="margin: 0;">～ 区立小中学校、幼稚園の暑さ対策を充実～</h3>	
特 色	<p>区立小中学校の特別教室・給食室と、区立幼稚園の保育室に空調機を設置する。全ての区立小中学校および区立幼稚園を対象とする。(ただし、校舎の改築等に伴い既に特別教室・給食室に空調機が設置されている学校を除く) 設置方法は、リース借り上げ方式とする。</p>	
予算額	188,173千円	充実



特別教室イメージ

事業目的	<p>区では、夏の暑さ対策のため、平成 20 年度に区立小中学校の普通教室、幼稚園の遊戯室等に空調機を設置した。今回、未設置となっている小中学校の特別教室・給食室、区立幼稚園の保育室に空調機を設置する。</p>	
事業概要	<p>区では、児童生徒の学習環境の改善による学習効果の向上および生活環境の向上を図るため、平成 20 年度に区立小中学校の普通教室等、幼稚園の遊戯室に空調機を設置した。しかし、小中学校の特別教室については、音楽室等一部の特別教室に設置しているが、理科室、美術室等については未設置となっている。また、幼稚園の保育室についても、未設置となっている。</p> <p>そこで平成 26 年度に、未設置となっている特別教室等へ空調機を設置することとする。また、給食室についても、空調機未設置校に対して、衛生環境を確保するとともに調理室内の労働環境の改善をはかるため、空調機を設置する。</p> <p>なお、設置にあたっては、設置費、維持補修方法、ランニングコストおよび環境への負荷など、様々な観点に配慮しながら、リース借り上げ方式を採用する。</p>	
スケジュール	平成 26 年度中 契約・設置工事	
問合せ	<p>学務課 ☎ 5984-5642 (区立幼稚園に関すること)</p> <p>施設給食課 ☎ 5984-5719 (区立小中学校に関すること)</p>	

【3】	<h2 style="margin: 0;">子育ての強い味方です！</h2> <h3 style="margin: 0;">～「こどもほっとステーション」がオープン～</h3>	
特色	練馬駅北口の複合施設「Coconeri（ココネリ）」内4階に、練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室、病児・病後児保育室を併設した認証保育所、小児科等診療所からなる「こどもほっとステーション」を開設する。	
予算額	練馬子ども家庭支援センター分室 103,950千円 保育施設等 112,360千円	新規



Coconeri（ココネリ）4階に開設



イメージ

事業目的	練馬駅北口区有地活用事業の一つとして、多様な子育てニーズに対応するため、駅前の立地特性を活かした子育て家庭への支援事業を展開する「こどもほっとステーション」を開設する。	
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室（平成26年4月開設） <ul style="list-style-type: none"> 『子どもと家庭の総合相談』『子育て啓発事業』『乳幼児一時預かり事業』等を実施する。『乳幼児一時預かり事業』は各子ども家庭支援センターで実施しているが、練馬駅北分室では駅前の立地特性を活かし、現行よりも単位数を増やし時間延長するとともに当日受付も行き、実施日も年末年始を除き通年で実施する。 2 保育施設等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 認証保育所（平成26年8月開設） <ul style="list-style-type: none"> 待機児童の解消を図るため、認証保育所（定員40人）を整備する。この施設では、保護者の急病、看護、出産などで一時的に保育を必要とする児童も短期間預かる。 さらに、普段は保育所などに通っているが、病気の回復期や、症状が急変する恐れがない状態で、集団保育の困難な時期にある児童を専用室で預かる「病児・病後児保育事業」を実施する。 (2) 小児科等診療所（平成26年8月開設） <ul style="list-style-type: none"> 民間の小児科診療所を誘致する。 診療所は、上記の病児・病後児保育施設と連携するとともに、一般の診療所として診療を行う。 	
スケジュール	平成26年4月 練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室開設 8月 認証保育所、診療所開設	
問合せ	練馬子ども家庭支援センター ☎ 5984-4689（練馬駅北分室に関すること） 保育課 ☎ 5984-5837（認証保育所、小児科等診療所に関すること）	

<p>【 4 】</p>	<p>夏休みを楽しく、安全に！ ～子どもたちの夏休みの居場所づくりを推進～</p>	
<p>特 色</p>	<p>「夏休み居場所づくり」モデル事業の実施校数を3校から6校に拡充し、子どもたちの安全・安心な居場所を充実させる。 学童クラブ室と学校応援団ひろば室の合築施設を整備（1か所）し、学童クラブ待機児童対策を進める。</p>	
<p>予算額</p>	<p>186,726千円</p>	<p>充実</p>



イメージ



<p>事業目的</p>	<p>放課後等における子どもたちの安全で安心な居場所づくりと健全育成を図るために、区では、地域住民の協力を得て小学校全65校で実施する「学校応援団ひろば事業」と、共働き家庭など保育の必要な児童に遊びや生活の場を提供する「学童クラブ事業」との連携による「練馬区放課後子どもプラン」を平成19年度から進めている。プランに基づき、「夏休み居場所づくり」モデル事業の拡充や学童クラブ室と学校応援団ひろば室の整備などを行い、さらなる充実に取り組む。</p> <p>学校応援団ひろば事業とは、平日の放課後に、希望する児童に学校内に居場所を提供し、学校応援団がスタッフとして見守る事業</p>	
<p>事業概要</p>	<p>1 「夏休み居場所づくり」モデル事業（全児童対策事業） 夏休みにおける子どもたちの安全で安心な居場所づくりとして、夏休みは開設していない学校応援団ひろば室を活用した「夏休み居場所づくり」モデル事業を、昨年度の3校から6校に拡充して実施する。対象は希望する児童で、運営は学童クラブ運営事業者等に委託し、児童の見守り等を行う。更にこの成果を踏まえ、全児童を対象とした新たな放課後児童対策の検討を進める。</p> <p>2 学童クラブ室の整備事業（1か所） 学童クラブの定員増および学童クラブ事業と学校応援団ひろば事業とのさらなる連携を図るため、学童クラブ室と学校応援団ひろば室との合築施設を整備する。</p>	
<p>スケジュール</p>	<p>1 「夏休み居場所づくり」モデル事業（6小学校・実施校未定） 平成26年5～6月 保護者に事業実施の周知 7～8月 事業実施 9～10月 保護者アンケート等実施</p> <p>2 学童クラブ室の整備事業（大泉学園緑小学童クラブ） 平成26年8月 着工 平成27年4月 使用開始（受入上限60人を予定）</p>	
<p>問合せ</p>	<p>子育て支援課 ☎ 5984-5816</p>	

【 5 】	熱中症指標計を配布します！ ～ 高齢者の熱中症を予防するために～	
特 色	熱中症の危険性を測定し警告する熱中症指標計を、支援の必要性の高い75歳以上のひとりぐらし高齢者に配布する。 熱中症による体調不良に気が付きにくい就寝中も自動計測し、居室内の危険性を警告することで、高齢者自らが熱中症のリスクを正しく察知できる。 熱中症のリスクに気づき、適切な対策をとることができる。	
予算額	10,000千円	新規

熱中症指標計（イメージ）



高齢者は、熱中症への注意が特に必要です！

体内の水分が不足しがち
暑さを感じにくい
汗をかきにくい



事業目的	<p>平成25年夏の練馬区における熱中症の救急搬送された患者数は176人であり、また死亡者数は11人であった。死亡者はすべて高齢者であり、すべてが屋内で発見され、多くが夜間に発症していた。</p> <p>区では、従来、熱中症対策としてチラシの配布やポスター掲示等、広く熱中症に関する知識とその予防方法について普及啓発と注意喚起に取り組んできた。しかし、高齢者は口の渇きや暑さを感じにくいという特徴があり、適切な水分補給や室内温度の管理にいたらず、より重度化しやすい傾向がある。</p> <p>そこで、支援の必要性の高い75歳以上のひとりぐらし高齢者に対し、熱中症の危険性を注意喚起できる熱中症指標計を配布することで、熱中症になることを未然に回避することを目的とする。</p>
事業概要	<p>災害時要援護者名簿に登録している75歳以上のひとりぐらし高齢者、および75歳以上のひとりぐらし高齢者で希望する方に熱中症指標計を配布する。 (計2万個)</p> <p>熱中症指標計とは、気温と湿度から熱中指標値を測定し、危険性を段階的にライトとブザーで知らせる機器。</p>
スケジュール	<p>平成26年5月 区報により区民への周知 5～6月 配布</p>
問合せ	<p>光が丘総合福祉事務所 ☎ 5997-7726</p>

【6】	都有地活用！区内初の民設福祉園を整備 ～誰もが安心して暮らせる社会のために～	
特色	<p>重度障害者の日中活動の場を拡充し、地域生活の充実を図るため、区内都有地を活用して、通所による生活介護事業所1所（定員45名）を、民間事業所誘致により整備する。</p> <p>運営主体は民間法人であり、時間外支援や休日活動、年間支援日数の増加等、民間ならではの特色のある運営が図られる。</p>	
予算額	84,963千円	新規



福祉園完成イメージ図



調理活動

事業目的	<p>重度障害者の日中活動の場を拡充し、地域生活の充実を図るため、通所による生活介護事業所1所（民設福祉園：定員45名）を民間事業所誘致により整備する。</p> <p>これにより、区立7福祉園（生活介護事業所）に加え区内8か所目の重度障害者が利用できる福祉園が整備されることとなる。</p>	
事業概要	<p>都有地を活用し、生活介護事業所を運営する法人に対し、整備費、運営費等の一部について区が補助を行う。これにより、重度障害者支援に適した職員配置や送迎車両の運行等が可能となり、区立福祉園と同様のサービスが提供できる。</p> <p>民設福祉園では、利用者・家族の状況や希望等に応じ、個別支援計画に基づいた活動等を行う。</p> <p>【都有地の概要】</p> <p>所在地 練馬区田柄3丁目5645番2,3</p> <p>面積 595.37㎡</p> <p>その他 旧練馬消防署田柄出張所跡地</p>	
スケジュール	平成26年6月 開設予定	
問合せ	障害者施策推進課 ☎5984-1024	

【 7 】	生活が困窮し、立ちすくむ人々のために ～新たなセーフティネットのモデル事業実施へ～	
特色	生活困窮者自立支援法が、平成 27 年 4 月 1 日に施行となるのに先駆けて、生活困窮者への支援をモデル実施する。モデル事業では、新たに包括的かつ個別的な相談支援を行う自立相談支援事業と生活再建のための家計相談支援事業を実施する。27 年度の適切な事業展開に向けて、支援対象者の把握の仕方や就労準備支援などの個別支援メニューの充実を図っていく。	
予算額	22,765 千円	新規

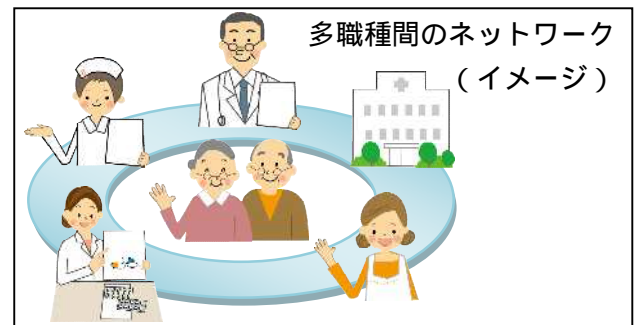
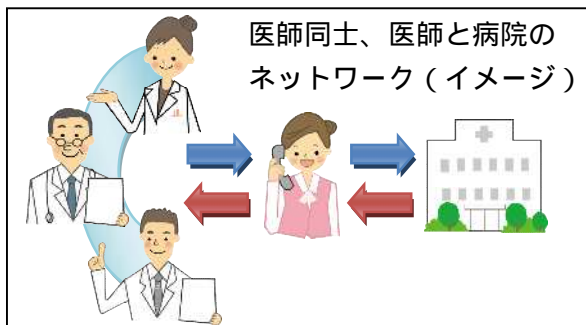
被保護世帯に占めるその他世帯の割合(毎年度末)

	被保護世帯数	その他世帯数	構成比
21年度	10,214	1,586	15.5%
22年度	11,154	1,953	17.5%
23年度	11,870	2,247	18.9%
24年度	12,427	2,349	18.9%
25年度 (11月時)	12,541	2,269	18.1%



事業目的	<p>経済状況の悪化に伴う安定した雇用の縮小や家族やコミュニティの低下等により社会経済構造が変化し、生活保護受給者が増加するとともに、生活保護に至らなくても生活に困窮している方が増えている。これらの方々には、単に経済的な問題だけでなく複合的な課題を抱え、社会的に孤立している場合も多い。</p> <p>そこで、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施する。地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者支援の制度化に向けた体制整備を行う。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 生活困窮者自立支援法の支援内容のうち、つぎの事業を練馬区社会福祉協議会に委託してモデル実施する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自立相談支援事業 (2) 家計相談支援事業 2 従来から実施している事業の活用 <p>ハローワークとの連携による就労支援、住宅支援給付、緊急一時宿泊事業など従来から実施している事業を具体的な支援策として活用する。</p> 3 支援体制の整備 <ol style="list-style-type: none"> (1) 対象者の発見・把握から支援につなぐ道筋を整理し、庁内の各部署や各種関係機関との連携体制を構築する。 (2) 就労準備支援、子どもの学習支援等の個別支援の仕組みの充実を図る。
スケジュール	<p>平成 26 年度中 モデル事業による実施、庁内連携体制の構築</p> <p>平成 27 年 4 月 生活困窮者自立支援法に基づく本格実施</p>
問合せ	練馬総合福祉事務所 ☎ 5984 - 1038

<p>【 8 】</p>	<p>自宅で安心して自分らしい生活を続けるために ～在宅療養推進ネットワークの構築～</p>	
<p>特 色</p>	<p>練馬区医師会をはじめとした医療・介護の関係者との緊密な連携により、在宅療養を支える二つのネットワークを構築。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医師同士、医師と病院のネットワーク 2 医療・介護に関わる多職種間のネットワーク 	
<p>予算額</p>	<p>14,985千円</p>	<p>充実</p>



<p>事業目的</p>	<p>高齢者等が疾病を抱えても、自宅で安心して自分らしい生活を続けられるように、医療・介護に関わる地域の多職種が連携して在宅療養を支える体制を構築する。</p> <p>区では在宅療養の推進を図るため、平成25年6月に医療・介護関係者等を構成員とした在宅療養推進協議会を設置し、多職種の連携強化等の課題解決に向けた検討を重ねている。平成26年度は、同協議会における議論を踏まえ、練馬区と練馬区医師会をはじめとした医療・介護の関係者が連携・協力し、課題解決に向けた具体的な取組みを積極的に展開する。</p>	
<p>事業概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 後方支援病床の確保等 区内病院の協力のもと後方支援病床を確保し、患者の病状変化時における円滑な病床利用を実現するとともに、病院から在宅への円滑な移行を図るため、練馬区医師会医療連携センターによるコーディネートを通した区内の医師と病院の連携を推進する。 2 事例（症例）検討会の実施 多職種の連携を深めるとともに、医療・介護関係者の顔の見える関係づくりを進めるため、事例（症例）検討会を実施する。 3 その他、医療・介護関係者への研修、区民向けシンポジウム、ICTを活用した関係者間情報共有試行事業を実施する。 各事業については、東京都の在宅療養推進区市町村支援事業補助金等を活用 	
<p>スケジュール</p>	<p>平成26年 4月 練馬区医師会医療連携センターによるコーディネート開始 9月 事例（症例）検討会の実施 10月 在宅療養シンポジウムの開催</p>	
<p>問合せ</p>	<p>地域医療課 ☎ 5984-1042</p>	

【9】	地域を守るのは君だ！防災学習センター開設 ～大人も子どもも目指せ防災リーダー！～	
特色	<p>学校跡施設を活用し、防災に係る人材育成のための新たな施設を開設。防災について、それぞれの知識や活動状況に応じて学べるように数種類の研修コースを実施。</p> <p>新たに導入する起震車による地震体験のほか、初期消火のための消火器や消火用ポンプ、スタンドパイプ等の各種資器材操作体験を行うことが可能。防災に関心のなかった方も気軽に見学し、学べる展示室を設置。</p>	
予算額	60,893千円	新規



区民向けコースの様子



普通救命講習の様子

事業目的	<p>未曾有の被害をもたらした東日本大震災を受け、地域のさらなる防災力の向上に向け、防災に係る普及啓発がより重要となっている。</p> <p>そこで、地域において防災活動を行う人材を育成するとともに、地震をはじめとする災害に対する区民の防災意識の啓発および向上を図るために実施する「ねりま防災カレッジ事業」の中心拠点として、練馬区立防災学習センターを開設し、一層の充実を図る。</p>	
事業概要	<p>防災に関する 研修、学習・教育、調査・広報、支援、場や機会の提供等の事業を行う中心拠点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修室では、防災知識の習熟度に合わせた区民向けクラス別コースや夏休み中の子ども向け防災講座、普通救命講習など、年間を通じて各種講座を実施する。 ・展示室では、小学生から大人まで防災の基礎が学べるよう、パネルや模型等の常設展示を行うとともに、図書資料や映像資料等の閲覧スペースを設け、区民が自ら防災について学習できる施設とする。 ・また、運動場や体育館を利用し、起震車体験や初期消火体験等の各種体験講座を実施する。 	
スケジュール	<p>平成26年4月 防災学習センター開設</p> <p>【所在地】練馬区光が丘六丁目4番1号(光が丘第二小学校跡施設)</p> <p>【主要施設】1階展示室、3階研修室</p> <p>【休館日等】毎週月曜日(休日の時は直後の平日)、年末年始(12/29～1/3)</p>	
問合せ	<p>震災対策担当課 ☎ 5984-2761</p>	

<p>【10】</p>	<p>豪イプスウィッチ市との友好交流 20 年 ～ 区民が、中学生が育んできた友好の絆～</p>	
<p>特 色</p>	<p>練馬区とオーストラリア・イプスウィッチ市との友好都市提携 20 周年の記念式典を練馬区で開催する。 向山庭園で催す歓迎の茶会で、練馬区立中学校生徒がお点前を披露する。</p>	
<p>予算額</p>	<p>1,666千円</p>	<p>充実</p>



10周年記念式典
平成16年10月 ネリマガーデンにて



平成25年度区立中学生海外派遣
さよならパーティの様様

<p>事業目的</p>	<p>練馬区とオーストラリア クイーンズランド州イプスウィッチ市は、平成6年に友好都市提携を結んで、平成26年で20年を迎える。そこで友好交流20周年を記念して、イプスウィッチ市長を練馬区に迎え、記念行事を通じて今後も更なる友情と信頼を育んでいくことを目的とする。</p> <p>区は平成5年から区立中学校の代表生徒をイプスウィッチ市へ派遣している。現地では異なる文化や生活習慣を直接体験し友好親善を深めている。派遣終了後には派遣生が校内報告会等で自らの体験を他の生徒に伝えており、他の生徒も含めた国際理解、学習への意欲付けに大きな教育効果を生み出している。</p>	
<p>事業概要</p>	<p>これまでの友情と信頼を称え、更なる発展を誓う調印式を行う。練馬まつり式典において記念セレモニーを行い、区民の皆様と20周年を祝う。その後、向山庭園で歓迎の茶会を催し、区立中学校生徒も参加し交流を深める。</p> <p>イプスウィッチ市は州都ブリスベンの南西40キロに位置する面積1,207平方キロメートル、人口約15万人の都市である。石炭の発見と州内で最初に敷かれた鉄道の利用で発展し、現在も多くの歴史的な建物が保存されている。</p> <p>【主な交流事業】</p> <p>平成13年 5月 イプスウィッチ市に日本庭園「ネリマガーデン」開園</p> <p>平成16年10月 友好都市提携10周年記念事業をイプスウィッチ市で開催</p> <p>平成18年 9月 イプスウィッチ市青少年楽団が練馬区で合同演奏会を開催</p> <p>平成22年 4月 練馬区と練馬区手工芸作家連盟訪問団がイプスウィッチ市150周年記念事業に参加</p>	
<p>スケジュール</p>	<p>平成26年10月 イプスウィッチ市友好訪問団来日 練馬まつりでのセレモニー、歓迎茶会、記念調印式</p>	
<p>問合せ</p>	<p>国際・都市交流課 ☎ 5984-1302</p>	

【11】	<h2 style="margin: 0;">よろず企業相談うけたまわります！</h2> <h3 style="margin: 0;">～練馬ビジネスサポートセンターの開設～</h3>	
特色	<p>区内産業の振興のための中核的な拠点として、練馬産業振興センターを開設する。施設内には、練馬ビジネスサポートセンター（ネリサポ）を設置し、事業者等からの経営改善等に関する相談に対し、金融機関での豊富な経験を有するビジネスマネージャーが、融資資金あっせん、販路拡大、創業等への様々な助言・支援を行い、中小企業の活性化を図り、区内産業経済の発展に寄与していく。</p>	
予算額	172,793千円	新規



Coconeri（ココネリ）完成予定外観図



ネリサポ相談（イメージ）

事業目的	<p>平成26年4月14日（月）にオープンする区民・産業プラザ（練馬駅北口の複合施設「Coconeri（ココネリ）」の3・4階に整備）は、練馬産業振興センター、区民交流ホール（Coconeriホール）、区民協働交流センターの総称で、練馬産業振興センターは、産業振興の中核的な拠点として、区内の事業者や産業経済団体の総合的な支援等を行う。</p>	
事業概要	<p>練馬産業振興センター内には、練馬ビジネスサポートセンター、産業・観光情報コーナー、産業イベントコーナー、研修室を設置するほか、区内産業経済団体事務所が入居・集結する。</p> <p>練馬ビジネスサポートセンター 金融機関との連携のもと常駐するビジネスマネージャーおよび専門相談員が、事業者からの相談に対し、ワンストップによるきめ細やかな総合相談支援サービスを実施する。</p> <p>産業・観光情報コーナー、産業イベントコーナー 練馬駅地下の観光案内所を移転・統合する産業・観光情報コーナーは、区内の製品の販売とともに産業・観光情報を発信する。産業イベントコーナーは、区内事業者による見本市開催等の場として活用する。</p> <p>研修室（大・中・小5室） 企業等の研修や会議等の場として活用する。</p> <p>区内産業経済団体（練馬区産業振興公社など5団体）事務所 区内産業経済団体が入居し、団体間および区との連携した活動の促進を図る。</p>	
スケジュール	<p>平成26年4月14日</p> <p>4月～7月</p>	<p>区民・産業プラザ（練馬産業振興センター、区民交流ホール、区民協働交流センター）の開設、練馬ビジネスサポートセンターの事業開始</p> <p>各種オープニングイベントの実施</p>
問合せ	<p>経済課 ☎ 5984-2667</p>	

【12】	<h2 style="margin: 0;">区内 4 幹線道路を走破しよう！</h2> <h3 style="margin: 0;">～ 第 1 回（仮称）ねりまシティマラソン！来春号砲！～</h3>	
特色	<p>区内の主要幹線道路（笹目通り、目白通り、環八通り、川越街道）を走ることができるハーフマラソン。</p> <p>23 区内でのマラソン大会の多くはコースの大部分に河川敷や大規模公園内を利用している。（仮称）ねりまシティマラソンはコースの 90%以上が公道であり、23 区内で開催されているマラソン大会（国際大会等は除く）としては珍しいコース設定である。</p>	
予算額	55,516千円	新規



ねりま光が丘ロードレースの様子

事業目的	<p>マラソンを通じて参加者の健康増進・体力向上とスポーツ推進を図る。また、練馬区は 23 区最大の都市農業や、アニメ産業、さらに文化芸術資産等多くの誇るべき魅力を有している。こうした練馬の魅力をマラソン大会を通じて全国に発信するとともに、人と人との出会いを創出し、区民同士のみならず全国からの参加者との絆を深めることで、活力とにぎわいあふれる「わがまち練馬」の実現を目指す。</p>	
事業概要	<p>区分：ハーフマラソン(21.0975km) 日時：平成 27 年 3 月 29 日(日) 午前 8 時スタート(雨天決行) 参加者：5,000 人 制限時間：2 時間 30 分</p>	
スケジュール	<p>平成 26 年 3 月 シティマラソン実行委員会設立 6 月 開催決定のお知らせ(区報掲載等) 10 月 参加者・ボランティア募集 平成 27 年 3 月 第 1 回ねりまシティマラソン開催</p>	
問合せ	<p>スポーツ振興課 ☎ 5984-2452</p>	

【13】	<p style="text-align: center;">豊かなみどりの中でスポーツや文化芸術を ～石神井松の風文化公園がよいよ開園～</p>	
特色	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広々とした芝生や石神井の歴史を伝えるアカマツ林など、豊かなみどりに親しめる約4.7ヘクタールの大規模公園。 ■ テニスや少年野球、少年サッカーなどのスポーツ活動の場として利用できる。 ■ 公園管理棟の一部を石神井公園ふるさと文化館の分室とし、練馬区ゆかりの文化人を紹介するとともに、五味康祐氏のオーディオ展示や檀一雄氏の書斎の再現展示等を行い、石神井公園を含めた散策、まち歩きの出発点として石神井公園ふるさと文化館と一体的に運営する。 	
予算額	<p>271,674千円</p> <p>石神井松の風文化公園維持運営費 77,110千円</p> <p>ふるさと文化館維持運営費 194,564千円</p>	新規

園内案内図

松林の広場

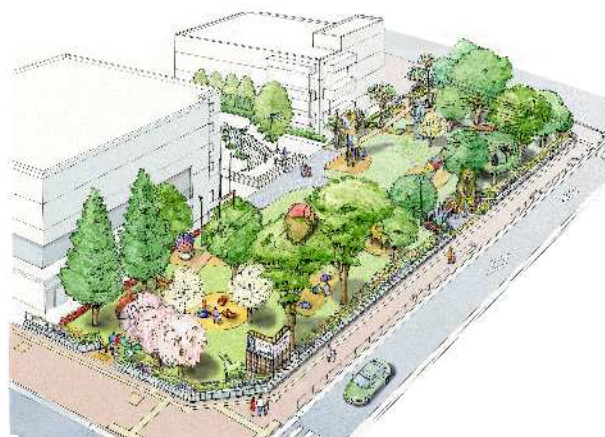


事業目的	<p>旧日本銀行石神井運動場のみどり豊かな敷地を生かし、自然、スポーツ、文化芸術に親しめる公園として、平成26年4月1日（火）に開園する。</p>	
事業概要	<p>主な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 多目的広場（約7,731㎡）・・・少年野球、少年サッカーなど ◆ 庭球場 7面（約4,182㎡）・・・砂入り人工芝6面、全天候型1面 ◆ 展示室、交流ラウンジなど（管理棟内） ◆ 松林の広場（約7,000㎡） 芝生地とアカマツ林を保全し、地域の特徴的な景観を残した広場 ◆ 花と木立ちの広場（約7,000㎡） 武蔵野の自然をイメージし、花と木立ちに包まれた広場 ◆ 友好のつつじ（約263㎡） 区の花「つつじ」に縁のある久留米市・館林市・埴町寄贈の大株つつじ植栽 	
スケジュール	<p>平成26年4月 開園（所在地：練馬区石神井台1丁目33番）</p>	
問合せ	<p>スポーツ施設に関すること スポーツ振興課 ☎ 5984-2452</p> <p>展示室に関すること 文化・生涯学習課 ☎ 5984-2435</p>	

【14】	<h2 style="text-align: center;">美術の森緑地にアートを</h2> <p style="text-align: center;">美術の森緑地で動物の彫刻がお出迎え ～新たな観光スポットをめざし美術の森緑地整備に着手～</p>	
特色	<p>美術館の屋外展示機能を有する場として整備し、新たな観光スポットへ。より多くの区民や美術ファンに愛される美術館を目指し、平成 22 年度、開館 25 周年を機に、美術館のキャッチフレーズとロゴ・マークを作成。</p> <p>美術の森緑地は、こうした取り組みをより一層発展させるものとして、美術館と地域の文化的イメージを高め、区の新たな観光スポットとしてその魅力を発信していく。</p> <p>緑地を天然芝等とし、心の癒しとなる動物をテーマとする彫刻を設置。さらなる取り組みとして、平成 26 年度企画展で「あしたのジョー」の時代をまんが・アニメを起点に総合的な文化の視点から紹介する。</p>	
予算額	1 3 4 , 8 6 4 千円	新規



キャッチフレーズとロゴ・マーク



整備イメージ図

事業目的	<p>美術館入口に隣接する美術の森緑地を、美術館の前庭と位置付け、野外展示の場、美術館へいざなう場として一体的に活用する。</p> <p>美術館と美術の森緑地を、練馬区の観光スポットとして、利用者の拡大を目指すとともに、地域のまちづくりにも貢献する。</p>
事業概要	<p>美術の森緑地を、彫刻作品展示に相応しい天然芝等とし、誰もが楽しめ、心の癒しとなる動物をテーマとする彫刻作品を中心に配置する。作品はみどりとの調和にも配慮し、既存樹木もできる限り活用する。また、美術館正面出入口および車椅子出入口に案内するメインエントランスと園路を確保し、バリアフリーに最大限配慮した整備とする。</p>
スケジュール	平成 26 年度 彫刻制作・工事・開園
問合せ	文化・生涯学習課 ☎ 5 9 8 4 - 2 4 3 5

【15】	<h2 style="margin: 0;">わんぱくでいいじゃないか！！</h2> <h3 style="margin: 0;">～「(仮称)こどもの森」の整備が始動～</h3>	
特色	<p>子どもたちが木登りや穴掘りなど、都市にいながら自然の中で冒険遊びが楽しめるこれまでにない新しい形の公園を整備する。</p> <p>ブランコや滑り台などの一般的な遊具ではなく、この地に自生していた自然木やキウイ畑などを、そのままこどもの遊び場として活用する。子どもたちが木や土に直接触れることによって、みどりの大切さを実感してもらう。</p> <p>みどりの環境資源を活かした遊び場作りは、東京 23 区でも珍しい試みである。</p>	
予算額	整備工事：91,579千円 運営方針の確立：14,148千円	充実



体験イベントの様子（ロープわたり）



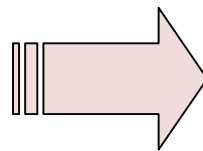
体験イベントの様子（キウイ収穫）

事業目的	<p>子どもたちが練馬のみどりの中で交流しながら楽しむ自然体験や自由遊びを通じて地域や環境への愛着を深めるとともに、練馬のみどりの保全と創出に向けた心を醸成することを目的とし、「(仮称)こどもの森」を整備する。</p>	
事業概要	<p>「(仮称)こどもの森」事業は、これまで、平成 23 年度から三か年にわたり羽沢二丁目緑地予定地において体験イベントを開催し、延べ 3,054 人の方々の参加を得て、様々な意見をいただいた。それらの意見や整備基本計画のパブリックコメントなどを参考に、羽沢二丁目緑地予定地を「(仮称)こどもの森」の常設の施設として整備工事を開始する。(仮称)こどもの森は、こどもの自由な発想で遊ぶことができる「自由遊びゾーン」や木登りなど体を使って自由に遊べる「冒険遊具ゾーン」、キウイの成長確認や収穫体験、自然観察などができる「実り収穫ゾーン」から構成されている。</p> <p>平成 26 年度は、平成 27 年度の開園に向け、整備工事を実施するとともに、運営形態などの運営方針を定めていく。</p>	
スケジュール	平成 26 年度 整備工事（所在地：羽沢 2 丁目 32 番、面積：約 3,043 m ² ） 平成 27 年度 開園予定	
問合せ	みどり推進課 ☎ 5984 - 2430	

<p>【16】</p>	<p>ごみをため込んでしまった高齢者宅等を支援 ～ 23区初！ごみ片づけ『あしすと』事業を試行～</p>	
<p>特色</p>	<p>高齢者や障害者のみの世帯で、部屋にごみを溜め込んでしまい住環境が悪化している世帯のごみ出しを区が支援。 清掃事務所の職員が居宅内でごみの分別や片づけを実施。 日頃の保健・福祉の見守りで早期発見した世帯に、必要なサービスをより迅速かつ正確に提供。 ごみを片づけることで、生活衛生の向上と地域の良好な住環境を確保。</p>	
<p>予算額</p>	<p>198千円（安全靴、マスク、手袋等）</p>	<p>新規</p>



事業実施前

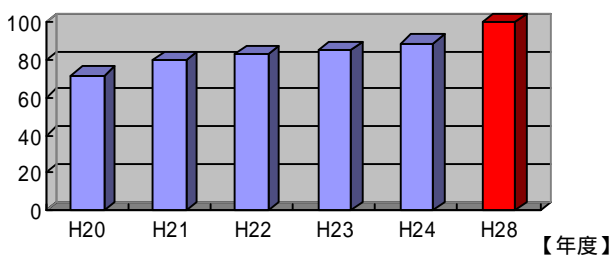


事業実施後

<p>事業目的</p>	<p>高齢や障害等により、ごみを溜め込んでしまう世帯の片づけからごみ出しまでを支援することにより、対象世帯の生活環境の改善を図り、地域で安心して生活できる住環境を提供することを目的とする。</p>
<p>事業概要</p>	<p>高齢者や障害者ケアの担当者が日頃の見守りの中で、ごみを溜め込んでいて、ごみ出しの支援が必要な世帯を発見し、清掃事務所に連絡する。 連絡を受けた清掃事務所職員が世帯を訪問し、高齢者等の意向を伺いながら、ごみの分別、ごみの片付け、部屋の中からのごみや粗大ごみの運び出しを支援し、ごみの収集を行う。 清掃担当職員が、居宅内に直接入ってごみの片づけや運び出し等を行うことで、短時間で住環境の改善を図る。 平成25年9月からの試行状況は、すでに30件あまり実施した。 支援を受けた区民からは「自分では手に負えなくなってしまって・・・、ここまでしていただけて感謝しています。」との言葉があった。</p>
<p>スケジュール</p>	<p>平成26年度 事業の試行（平成25年9月から試行開始） 平成27年度 本格実施</p>
<p>問合せ</p>	<p>清掃リサイクル課 ☎ 5984-2654</p>

<p>【17】</p>	<p>年間利用 100 万人を目指して ～みどりバスの更なる利用促進に取り組む～</p>	
<p>特 色</p>	<p>平成 21 年度に、コミュニティバスの愛称を「みどりバス」に統一。 平成 24 年度には、年間利用人数が約 89 万人。 （平成 20 年度の年間利用人数は、約 72 万人。5 年間で約 1.2 倍の増） この春には、氷川台ルート（現在、光が丘駅、練馬春日町駅、氷川台駅と接着）が 練馬駅、東武練馬駅に乗り入。鉄道駅 5 駅と結ばれ、さらに便利に。</p>	
<p>予算額</p>	<p>1 8 9 , 1 6 0 千円</p>	<p>充実</p>

【単位：万人】



みどりバスの年間利用人数の推移



みどりバス

<p>事業目的</p>	<p>区は、既存路線バスを補完し、高齢者・障害者などの交通弱者を含めた区民全体の生活行動力の向上や、公共公益施設への交通の利便性向上を図り、あわせて公共交通空白地域の改善などに寄与することを目的に、みどりバスを 6 ルートで運行している。</p> <p>みどりバスの運行サービスの充実に向けては、運行経費における区の負担を軽減することが必要であることから、利用促進に資する広域的な広報活動を展開する。</p> <p>こうした取り組みなどを経て、3 年後には、年間利用人数が 100 万人になることを目指し、以って収支の改善を図る。（現在、運行経費のうち約 52% を区が負担[平成 24 年度実績：決算ベース]）</p> <p>さらに、区が平成 21 年 3 月に策定した、「公共交通空白地域改善計画」について、計画の見直しも視野に入れ、これまでの取組について、検証、評価した上で、都市交通の新たな動向などを踏まえ、適切に対応していく。</p>
<p>事業概要</p>	<p>利用促進のために、以下の取組を行う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 区の観光資源やねり丸を活用した、利用促進策を検討し、実施 2 鉄道とバスの乗換えのわかりやすい案内表示を検討し、導入 3 公共交通空白地域改善計画における、これまでの取組を検証、評価
<p>スケジュール</p>	<p>平成 26 年 春 氷川台ルートの再編運行開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編運行にあわせて、利用促進策を検討し、実施。さらに、鉄道駅におけるバス乗換案内を検討し、わかり易い案内表示の導入を図る。 <p>夏～秋 周知キャンペーンを実施</p> <p>年度末まで 公共交通空白地域改善計画における、これまでの取組を検証、評価。</p>
<p>問合せ</p>	<p>交通企画課 ☎ 5 9 8 4 - 1 5 4 9</p>

【18】	通勤・通学から買い物利用まで ～使いやすい自転車駐車を整備します～	
特色	<p>鉄道の高架化や再開発事業など、駅周辺の都市基盤整備に合わせて、恒久的な区立自転車駐車を整備する。</p> <p>自転車利用者の利便性を考慮し、非接触型のＩＣカード（パスモ、スイカなど）に対応したサイクルゲートシステムや電磁ロック式ラックなどを導入するとともに、短時間利用などの目的にも応じた区立自転車駐車を提供し、午後や休日の放置自転車の解消を図る。</p>	
予算額	1,427,296千円	充実



(仮称)大泉学園駅北第四自転車駐車場完成予想図



短時間無料自転車駐車場

事業目的	<p>駅周辺の都市基盤整備に合わせて自転車駐車を整備し、恒久的に利便性の高い自転車の利用環境を整備する。</p> <p>自転車利用者の利用目的に応じた自転車駐車の整備を進めることで、駅周辺の通行の妨げや景観を損なう放置自転車を解消し、安全で快適な自転車利用環境の向上を図る。</p>	
事業概要	<p>通勤・通学など長時間駐車を利用目的とした自転車駐車場として、大泉学園駅周辺において取得した用地に、収容台数約500台の(仮称)大泉学園駅北第四自転車駐車を整備し開設する。また、新たに大泉学園駅北口再開発事業や上石神井駅南口での用地取得により自転車駐車を整備する。</p> <p>一時利用の自転車駐車場においては、非接触型のＩＣカード（パスモ、スイカなど）に対応したサイクルゲートシステムや電磁ロック式ラックの導入を計画的（6か所程度/年）に実施し、自転車利用者の利便性の向上を図る。</p> <p>あわせて、買い物等の短時間利用の無料化を図り、買い物客などが利用しやすい自転車駐車を提供するとともに、地元商店会や町会など、地域との連携をとおして、平日午後や休日の放置自転車の解消を図る。</p>	
スケジュール	<p>自転車駐車場整備</p> <p>平成26年10月 (仮称)大泉学園駅北第四自転車駐車場 開設</p> <p>自転車駐車場改修(ゲートシステム、電磁ロック式ラックへの改修)</p> <p>平成26年6月～平成27年3月</p> <p>大泉学園駅周辺他、計6施設</p>	
問合せ	交通安全課 ☎ 5984-1989	

【19】	自転車シミュレーターで交通ルールを学ぼう！ ～ルールやマナーを守って安全運転～	
特色	子どもから高齢者まで、地域の公共施設で気軽に自転車シミュレーターで走行体験することにより、「交通ルールやマナーの学習」と「危険予測トレーニング」ができる。 16台という多数の自転車シミュレーターを導入して配置・活用している都内の区市町村はない。	
予算額	10,000千円	新規



自転車シミュレーターイメージ図



ねり丸も交通ルールを守るよ！

事業目的	自転車は幅広い年齢層が利用する乗り物であるが、自転車利用者の交通ルールやマナーが守られていないという声が、区民から近年多数寄せられている。区内交通事故当事者のうち、自転車利用者は2割を超えているのが現状である。区はこれまでも、小学生を対象とした自転車の安全な乗り方教室、中学生を対象にスタントマンを使った事故再現による交通安全教室などを実施してきた。さらに平成26年度においては、あらゆる世代に効果的な交通安全のルール・マナーの啓発を図るため、気軽に学習できる自転車シミュレーターを導入する。	
事業概要	自転車シミュレーター16台を導入し、地区区民館等に設置するほか、自転車安全講習会での活用や貸し出しにも対応する。 導入効果としては、様々な年齢層に対応したソフトが内蔵されており、子どもから高齢者まで幅広い方々が利用できること。自転車運転の際に起こりうる交通状況を再現し、交通ルールやマナーを学べるとともに、危険な状況も疑似体験できること。自転車シミュレーターの体験により、危険予測の能力を高め、安全意識の向上を促すことができること等が挙げられる。	
スケジュール	平成26年7月～ 平成26年9月末	順次配備 配備完了
問合せ	交通安全課 ☎ 5984-1989	

【20】	見えない地下の安全も忘れない！ ～陶製の下水管を交換し、道路陥没を防ぎます～	
特色	<p>道路陥没の主な要因となっている汚水枡および雨水枡の陶製でできた取付管部を、より衝撃に強い硬質塩化ビニル管に取替えることにより、道路陥没を未然に防ぐことに有効である。</p> <p>区が道路維持補修工事を施工する際、都下水道局と連携して、汚水枡取付管も合わせて改良することにより、効率的に道路陥没対策を行うことが可能である。</p>	
予算額	199,044千円	新規



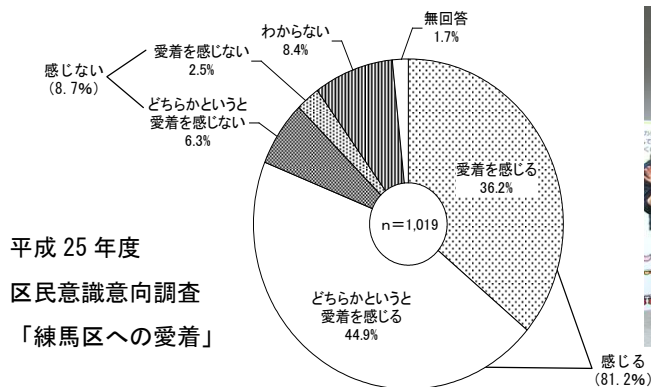
道路陥没状況



道路陥没による事故状況

事業目的	<p>昭和42年度から始まった区内の下水道整備は、平成7年度末に普及率がおおむね100%に達し、路面排水設備は区が、下水道設備は都下水道局が管理している。下水道設備は敷設後20年を経過しているものが大部分であり、そのうえ道路下に埋設されているため、敷設後の状態を把握しにくいのが現状である。</p> <p>こうした中、区が管理している道路で、毎年約30件の道路陥没が発生しておりその約8割が、各家庭からの汚水や路面排水を下水道管に收容するための取付管の破損に起因する、道路陥没となっている。</p> <p>道路陥没は、歩行者や車両の通行において、重大な事故につながる危険性を含んでいる。</p> <p>そのため、区の道路維持補修工事の施工時に、汚水枡および雨水枡の陶製の取付管を、衝撃に強い硬質塩化ビニル管に取替えることにより、道路陥没を未然に防ぎ、安全・快適な道路環境の整備に努める。</p>
事業概要	<p>路面排水を收容する雨水枡は、20～30m毎に設置している。各家庭の汚水を下水道管に收容するための汚水枡は、各宅地前にあるため雨水枡より数量が多い。</p> <p>区の道路維持補修工事に合わせて、雨水枡取付管を陶管から硬質塩化ビニル管に取替えて行く。また、都下水道局と連携して、汚水枡取付管も同様に取替えて行く。</p> <p>道路維持補修工事予定 7,450m（30路線） 汚水枡取付管補修 950箇所 雨水枡取付管補修 500箇所</p>
スケジュール	平成26年度から毎年度実施
問合せ	道路公園課 ☎ 5984-2378

<p>【21】</p>	<p>練馬への好感度、さらにアップします！ ～「ねりまっいいね！」を発信～</p>	
<p>特色</p>	<p>■練馬の魅力を発信する観点から、シティプロモーション用の映像やポスターを制作し、マスメディアなどを活用した広報キャンペーンを展開する。 ■区民への発信だけでなく、対外的なブランド広報に本格的に取り組むのは、23区では珍しい。</p>	
<p>予算額</p>	<p>48,713千円</p>	<p>新規</p>



ねり丸とねり丸キャラバン隊メンバー

<p>事業目的</p>	<p>区では、平成 25 年 4 月に、外部から広報の専門家を登用してシティプロモーション担当を設置し、同年 9 月には、練馬区のイメージアップを図ることを目標とする「練馬区広報戦略基本方針」を策定した。 平成 25 年度区民意識意向調査では、「住みごこち」については 9 割が肯定的な評価をし、「練馬区への愛着」については 8 割が愛着を感じると答えており、区民の区に対する満足度は高い。一方で、練馬区には、豊かなみどりやアニメ・農業などの特色ある産業、また、文化・芸術資産があるものの、それが区のイメージとして定着するまでには至っていない状況が見られている。 そこで、平成 26 年度は、練馬区広報戦略基本方針に基づき、シティプロモーションをさらに推進するため、練馬の魅力を PR する映像やポスターを制作し、マスメディアなどを活用した広報キャンペーンを区内はもとより区外へも展開する。</p>
<p>事業概要</p>	<p>以下の取組みを組み合わせた広報キャンペーンを展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 シティプロモーションビデオを制作し、テレビでの CM 放映や YouTube などを活用したインターネット動画配信、鉄道車内での動画放映を行う。 2 シティプロモーションポスターを作成し、鉄道駅構内などに掲出し、乗降客に対するの広報活動を実施する
<p>スケジュール</p>	<p>平成 26 年 8 月～9 月 広報キャンペーン実施</p>
<p>問合せ</p>	<p>広聴広報課 ☎ 5984-2680</p>



平成 26 年度 練馬区当初予算案

記者発表資料

発行 練馬区区長室広聴広報課

〒176-8501 練馬区豊玉北 6-12-1

TEL 03-5984-2693